

高齢者の保険事業と介護予防の一体的な実施について

高齢者の保健事業と介護予防の 一体的な実施について

米沢市

保健事業と介護予防の現状と課題

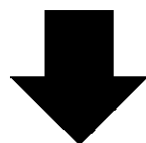
- ・医療保険の保健事業は75歳を境に、保険者や事業内容が異なるため、それまでの保健事業が適切に継続されない。
- ・医療保険制度による生活習慣病対策・フレイル（加齢により心身が老い衰えた状態、虚弱）対策と、介護保険制度による介護予防が制度ごとにそれぞれ実施されている。
- ・医療保険制度と介護保険制度の事業実施部局が異なることから、アプローチすべき対象者に対し、一体的に実施できていない。

取組み

山形県後期高齢者医療広域連合の委託を受けて、医療保険制度の保健事業と介護保険制度の介護予防事業を一体的に実施する体制を構築し、高齢者の健康づくり・介護予防を推進することを通して、「健康長寿日本一のまち 米沢」を目指す。

分析から見えた課題（令和2年度：KDBシステムより）

- ・後期高齢者の健診受診率は10%（県内第34位）
- ・後期高齢者の内、医療機関を受診している者は94.3%おり、そのうち生活習慣病を有している者は89.9%
- ・健診未受診者で医療機関未受診者である健康状態不明者は749人（5.5%）
- ・健診未受診者の1件当たりの医科レセプト点数は5,992点で、県の4,885点、国の5,537点と比べ高い。
- ・後期高齢者の医科レセプト点数は、1件当たり外来2,793点、入院61,854点で、県の外来2,424点、入院56,495点をともに上回っている。



本市の後期高齢者においては、健診を受診している人は少ないが、多くの人が生活習慣病等で医療機関を受診していることがわかる。また、1件当たりの医療費が高いことから、重症化してから受診し治療していることが想定される。

事業の実施圏域

令和4年度は、第7中学校区（万世地区・上郷地区）において実施。

選定理由

- ・ 通いの場において、「米沢市シューイチ体操倶楽部」の数が最多の7箇所設置
- ・ 介護予防に関する機運の醸成が高い
- ・ 健診未受診かつ医療機関の未受診者がどの程度存在するのかを抽出し、健康課題の有無を把握し分析を実施するのに適当な地区

【高齢者に対する個別支援】

健康課

健康状態不明者（医療機関未受診かつ健診未受診）に対する訪問等により健康状態を把握、受診勧奨や必要なサービスへつなげる

【通いの場等への積極的な関与】

高齢福祉課

シューイチ体操倶楽部等でのフレイル予防に重点を置いた健康教育・健康相談の実施、生活機能向上の支援等を行う

スケジュール

月	【高齢者に対する個別支援】	【通いの場等への積極的な関与】
4	委託開始 事業準備	委託開始 事業準備
5	対象者選定	通いの場への事業協力依頼
6	↓	↓
7	訪問実施等	健康教育・健康相談実施
8	↓	↓
9	↓	↓
10	↓	↓
11	↓	↓
12	事業評価・分析	事業評価・分析
1	↓	↓
2	次年度計画	次年度計画
3	委託終了	委託終了